

## 平成 29 年秋期 金沢南部地区推進連絡会

### 1 日時

平成 29 年 11 月 21 日 (火) 18 : 00 ~ 19 : 00

### 2 場所

金沢町町内会館

### 3 参加者 52 名

(地域側) 自治会等地域団体関係	29 名
学校関係者	4 名
(支援チーム、その他行政側)	19 名

### 4 意見交換要旨

#### (1) 開会の挨拶

～省略～

#### (2) 出席者紹介

～省略～

#### (3) 概要説明

～省略～

#### (4) 前回議事録概要確認

確認済であることが伝えられた。

#### (5) 意見交換会

テーマ「お互いさまのまちづくり あなたは何をしますか？」

(司会)

本年は「お互いさまのまちづくり あなたは何をしますか？」というテーマ。今回のテーマを決めるにあたり、要援護者って誰？高齢者？助ける人も高齢者？といったそもそもの話があった。高齢者は人生の中でいろいろな経験、スキルがあつて、誰かを助けることもできるし、それが生きがいにもなる。会社をリタイアした人が地域デビューするのは難しいが、おたすけ隊のようなものがあるとデビューしやすい。

#### ●東町おたすけ隊について

- ・ 発足の経緯の中で、役員も高齢者で家の中が片づけられないという声があった。町内会総会で決議し、草刈、剪定、家具の移動、簡単な補修を請け負う。おたすけ隊をする人もおたすけを受ける人も高齢者。屋根など危険な場所の修復はやらない。発足後 7 か月でのべ 10 日間、8 件。長く続けていきたいと思っている。

文庫小学校の草取りにも協力参加しており、草取りの日以外にも草取りを行っている。

●地域でなにかできるか？

- ・ 要請がないとなかなかできない。自分たちも高齢者なので、草取りは2時間やったら疲れてしまった。しかし、要請があるとやりやすい。自ら進んで働き掛けるといふ勇気はないが、これからも手助けできるものがあればやっていきたい。
- ・ 行事が多すぎて、やるメンバーが決まっているので、整理した方がよい。質問ですが、東町おたすけ隊10日間の実績で参加者数はのべ何人ですか？  
→おおよそ2～3人、平均年齢は78歳。おたすけを受ける人はもっと高齢。
- ・ 金沢南部地区は平均年齢もかなり高く、地域のために何ができるのか？10あったら、8つの行事をどうやっていくか？2割カットで、成果を120%目指したい。

(司会)

金沢南部地区のメンバーはいろいろたくさんやっている。何ができる？と尋ねるのは申し訳ないが、それでも心の中で何かしたいと思っている人はいるのではないかと思う。

- ・ 12, 3年前は自治会長をやっていた。うちは毎年、全自治会役員が総入れ替わり。継続性がない。民生委員をやっていると単身高齢者を訪問する。民生委員だけが、高齢者が一人で暮らしている状況をただ把握しているだけでは何も意味がない。高齢者に外にでてきてもらおうと思い、シニア会を育て、7年経ち、96人になった。グラウンドゴルフ、コーラス、散策など企画している。リタイアしたら地域デビューするにはよい機会である。グラウンドゴルフはスポーツ推進委員とコラボして、まつかぜ公園で大会を催し、4回目となる。2面8ホール、シニア会でお手伝いに出てきてもらった方が、たくさん見守りができる。金沢地区センターで5月25日に金沢区の春季大会があり、シニア会のメンバーが優勝して、市の大会に出場する。

また、散策の会は10月で47回目。金沢区を中心に鎌倉や横須賀、横浜方面などに足をのぼす。シティガイド協会の方が2名、シニア会に入った。区でやっている散策試験の取り組みはとてもよいと思う。また、コーラスも発表の場を与えてもらっており、公会堂がなく残念だが、シニア会に編曲までできるような方もいて、本当に幅広い人材がある。その他、将棋や釣り、麻雀なども区と協働したいと思う。当自治会在住の元Jリーガーも今後活躍してくれるとうれしい。シニア会としてや

りたいことがたくさんある。

(司会)

助け上手、助けられ上手といったことがいえると思う。どんな気持ちで助け上手やっていますか？

- ・ 仕事を退職し、のんびりしようと思っていた。いきいきフェスタで公園愛護会をのぞいた際に、バラの講習会を申し込んだら、知らない間に公園愛護会のメンバーになっていた。公園のことも花のことも何も知らなかった。

また、いきいきセンターにいったら、ボランティア「すけさん」に入ることになり、忙しくなった。公園愛護会では焼き芋のイベントをさざなみ公園でやっている。何かしなくちゃ、という心境である。ボランティアの経験を活かして、町内でも何かやらなくてはと思っている。自分がやらないと若い人もやってくれないと思う。まずは自分から率先してやっっていこうと思っている。自分は自分なりに満足している。具合の悪い人のお手伝い、片付けなど、声をかけてくれれば、日曜日でも活動することもできると思う。年齢は重ねているが、がんばりたいと思う。

- ・ 文庫小学校の草取り隊については、大正生まれのおばあちゃんも「自分も役に立ちたい」との思いから参加してくれている。草とり隊・見守り隊では地域の方々に大変お世話になっている。文庫小学校が地域に対して何ができるか、子供たちには大きな声で元気に挨拶をすることを呼び掛けていきたい。

お互いさまのまちづくりという本日のテーマに合う、とてもいい本があるのでご紹介したい。“やさしい算数”という本があり、足し算は“助け合う”、引き算は“引き受ける”、掛け算は“声をかける”、割り算は“分け合う”、これをやっていくと人を笑顔にできる“思いやり算”。今回のお互いさまのまちづくりというテーマに合っておりよいキャッチフレーズだと思うのでよかったですらどこかで活用してほしい。

- ・ 金沢中学校の学区は5つの連合と関わっており、色々な面で地域の方々にお世話になっている。本日は中学2年生 270名が職業体験として70か所の事業所でお世話になっている。賃金をもらって働くと言うこと、無償でボランティアとして活動することを学んでほしい。色々なこどもがおり一律にはできないが、色々な場面で機会さえあればこども達が力を発揮できると思う。人の役に立ち「ありがとう」と言われることが子供達の力になると思うので、今後もよろしくお願ひしたい。

(司会)

シーエンジェル通信を、防災について学んだことを活かして作成した。ご近所とはで

できるだけ仲良くして助け合うこと、支援者である母親たちも人を助ける場面もあるということを知ってほしい。一番苦労して作成に関わった方からもお話を伺いたい。

- ・ 昨年、地域のお母さん達から「私たちも防災訓練に参加していいんだ」という声が聞こえ、防災訓練参加のアピールが届いていなかったことがわかった。シーエンジェル通信で地域の母親たちにも防災訓練の参加を呼びかけたい、マップも頑張って作ったのでぜひ見てほしい。

- ・ 今年の4月より地域の見守り隊として活動している。その通学路を通るのは児童10名、そのうち3人は自分の孫。朝からこども達と顔を合わせるのが楽しい。最近になって「〇〇ちゃんが今日はお休みします」ということも知らせてくれるようになった。

そのほかにも、地域のごみ集積所をどうきれいにするかを考え、「今日の収集は終わりました」という看板を作ることで時間外にゴミを出さないよう集積所をきれいに保つ活動をしている。地域の色々なことに参加することで勉強になる。体力がつづく限り続けていきたい。

(6) 閉会の挨拶

～省略～